

「花の木トレーニングハウス」 トレーニング機器導入!

このような充実したトレーニング施設は、県内でも

多くありません。今後も生徒の活躍が期待されます。

- ① **チエストプレス(HERCULEUS)**
主な使用筋肉：大胸筋、上腕三頭筋
- ② **シーテッドロウ(SEATED ROW)**
主な使用筋肉：後背筋、上腕二頭筋
- ③ **スクワット(GRANDDCHARIRON)**
主な使用筋肉：大腿四頭筋、大殿筋、腓腹筋
- ④ **レッグエクステンション(CASSIOPEIA)**
主な使用筋肉：大腿四頭筋
- ⑤ **レッグカール(PEGASUS)**
主な使用筋肉：大腿二頭筋
- ⑥ **ラットプルダウン(ORION)**
主な使用筋肉：広背筋、上腕二頭筋
- ⑦ **ショルダープレス(CENTAURUS)**
主な使用筋肉：三角筋、上腕三頭筋



平成24年11月10日に、創立90周年記念式典が盛大に行われました。同時に、記念事業の目玉である、「花の木トレーニングハウス」が完成し、それに伴い、昨年12月に待望のトレーニングマシンが導入されました。中古ではありますが、ほぼ新品に近いものが入りまし

た。合わせてPTAより、ウエイトトレーニング器具も導入され、一層充実した立派なトレーニング施設となりました。すでに多くの部活動の生徒が利用し、計画的な体作りで購入していただきます。同窓会で購入していただいたトレーニングマシンは左記の通りです。



— 第14号 —

発行/岐阜県立恵那高等学校同窓会
所在地/岐阜県恵那市大井町1023-1

〒509-7201

TEL・FAX: 0573-25-0253

E-mail: c27331@gifu-net.ed.jp

発行責任者 市川 康夫

「末松安晴荣誉教授 日本国際賞受賞決まる」



平成26年1月29日、国際科学技術財団より、光通信の世界的研究者で、恵那中学24回生の末松安晴先生が、日本国際賞を受賞されること発表されました。

日本国際賞とは、政府が、ノーベル賞並みの賞を作ろうという構想に、故、松下幸之助氏の寄付により、1985年に始まった国際賞です。全世界の科学者を対象に、独創的で飛躍的な成果を挙げ、科学技術の進歩に大きく寄与し、もって人類の平和と繁栄に著しく貢献したと認められる人に与えられるものです。授賞式は、天皇后陛下ご臨席のもと、盛大に行われてい

ます。今年4月23日(水)に東京で授賞式が行われます。

末松先生の国際賞受賞理由と研究内容について一部を紹介します。

末松安晴先生は、光ファイバーの損失が最小となる波長の光を発生し、かつ高速変調時に波長変動が抑制できる半導体レーザーを実現して、インターネットをはじめとする情報ネットワークを支える大容量長距離光ファイバー通信に道を拓きました。

末松先生は、光ファイバーを使用する高性能伝送システムを早くから提唱し、実現すべきシステムから必要とされるレーザーの特性を定めて、理論から材料までの広範な分野をカバーした工学的アプローチで大容量長距離通信用途の半導体レーザー開発を先導しました。まず1974年に位相シフトを有する周期的構造を用いた反射器を半導体レーザーに集積することを提案し、高速変調時に発振波長が安定する動的単一モードレーザーの概念へと発展させました。並行して、光ファイバーの損失が最小となる1.5μm帯で発振するInGaAsPレーザーの室温連続発振を実現しました。1981年には、これらの技術を組み合わせ、位相シフトを有する反射器を集積したInGaAsPレーザーを1.5μm帯で室温連続発振させ、動的単一モード動作を世界で初めて実証しました。当初、集積レーザーは技術的に難しいとみられていたが、これを覆して大容量長距離光ファイバー通信への道を拓いたのであります。現

在、1997年に位相シフトを有する周期的構造を用いた反射器を半導体レーザーに集積することを提案し、高速変調時に発振波長が安定する動的単一モードレーザーの概念へと発展させました。並行して、光ファイバーの損失が最小となる1.5μm帯で発振するInGaAsPレーザーの室温連続発振を実現しました。1981年には、これらの技術を組み合わせ、位相シフトを有する反射器を集積したInGaAsPレーザーを1.5μm帯で室温連続発振させ、動的単一モード動作を世界で初めて実証しました。当初、集積レーザーは技術的に難しいとみられていたが、これを覆して大容量長距離光ファイバー通信への道を拓いたのであります。現

在、動的単一モードレーザーは、大容量光ファイバー通信の光源として、陸上光幹線、大陸間海底光幹線に

平成26年2月13日(木)、

本校で理数科課題研究発表会がありました。末松先生は本校のSSH運営指導委員も務めておられるため、本発表会にも出席いただきました。その際、全校生徒に先生の国際賞受賞とその功績を改めて紹介し、同窓会より花束を贈呈し、全校生徒で受賞をたたえました。



同窓会報「城陵」について

平成13年より創立80周年記念事業に向けて発行が始まった本紙は、多くの同窓生の方々の協力金(一〇二,〇〇〇円)に支えられ、発行を続けてまいりました。昨年度は、会報発行のための協力金の寄付者が600名を超え、今回、第14号の発行が実現できました。改めて、寄付をしてくださいました方々に深く御礼申し上げます。同窓会報「城陵」は皆様の寄付によって支えられております。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会報協力金振込先

会報協力金口座(株式会社同窓会事務局代行口座)
ゆうちょ銀行
岐阜県立恵那高等学校同窓会 口座番号 00170141300048

創立記念講演

「すばらしき高校時代」

講師：作家 後藤武士氏

(理数科三十七回生)



▲演題「すばらしき高校時代」 教育評論家 後藤武士先生

五月十六日午後、本年度の創立記念講演が恵那高校体育館で開催されました。講師は理数科三十七回生で、現在はミリオンセラー作家である後藤武士さん。「すばらしき高校時代」と題したお話に、生徒たちは耳を傾けました。

後藤さんが高校時代を振り返り話しました。

『当時の思考と行動は実に理に叶ったものでした。初めに「これをやりたい」「こうありたい」という目標がある。この段階で妥協や諦念は存在しない。そして次に「どうすればそれが可能か」という考察がある。そのために情報を集め実例を検証し可能性を点検する。そして、最後に照れや恐れを物とせすただひたむきに行動する。もはや青年も脱した我が身からは羨ましい限りのピュアな感性とエナジーです。現役生のみなさんは今まさにそういう環境にいる。おそらく自覚されていなくて若さという武器を大いに発揮し、自らがこうありたいと願う

自分の姿に遠慮無く邁進してほしいと思います。』

続けて高校時代だからこそ得なことがあると後藤さんは語ります。

『高校時代にはマイナスがありません。せいぜい恥ずかしい程度。職を失うことや生計に困るようになる可能性は皆無。もちろんやり直しも利く。しかも何をやらばいいか比較的はっきりしている。大人になったらそもそも何を頑張れば成功

できるのかすら不確かなものになります。リターンも大きい。ローリスクハイリターンです。とりあえずのゴールもはっきりしているから、安心してペース配分を組み立て、力を出し尽くさぬまま終わってしまわぬよう全力疾走できます。こんな時期は二度とない。』

後藤さんの熱い語り、生徒は刺激を受け、これからの生活の励みになったようでした。



▲後輩達に熱く語りかける後藤武士さん



平成25年11月の名古屋恵那高会総会において、会長職を引き継がせていただきました。

本会の総会へは名古屋市内のみならず、愛知、岐阜、三重からもご参加いただいております。前々会長各務芳樹氏及び榊原前会長を始めとする方々のひたかたならぬご尽力により、毎年の総会及びその開催の準備と懇親を兼ねて数回にわたる世話人会が開かれております。

世話人の方々も、お忙しい中、熱心にご協力をいただ

同窓会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年4月の着任以来、もとより微力ではございますが、旧制中学校以来の歴史と伝統に恥じぬよう精一杯職務に専念いたしましたとの思いでございますので、よろしくお願ひ申し上げます。

会員の皆様方には日頃より本校の教育活動に多大のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、一昨年の創立90周年の記念事業におきましては、花の木トレーニンングハウ

ております。

榊原前会長ご在任中には、世話人を若手の世代を中心に増員し、出席者の平均年齢の低下と会の更なる活性化に向けて、一定の成果があげられました。

そこでこの試みを更に活発なものとして行きたく、その一つとして「若手会」の立ち上げを提案したく存じます。

本会に限らず、おそらくいずれの会においても若手の方々の出席率はかんばしくないと考えます。

見も知らぬお偉い諸先輩にアタマを下げなくてはならぬタテ社会然とした会へは気づまりで出たくない、と考える方々が多いかと思えます。

私自身も昭和50年に東京から名古屋へ移ってきた当初は、総会、世話人会のいずれにも、気おくれ感が先に立って出席率は必ずしも良くありませんでした。



名古屋恵那高会 会長 鮎澤多俊

私にとって名古屋との接点は、幼い頃、父や母に連れられ長者町の問屋に仕入れに来て、デパート屋上や東山動物園で遊んだこと位で、知り合いの数もごくわずかでし

た。そんな中で、同じ学び舎で過ごされた方々との出会いの場である本会は、有り難い機会でした。

の中身を豊かなものとすると思えます。そのために、総会へ、より若い世代から多くの方々に参加していただくきっかけ作りの試みとして、平成の卒業生

若手会立ち上げの提言

その他様々な分野において活躍しておられる方々と本会を通じて知り合いました。世代を問わぬ様々な分野の方々が互いに知り合い、交流を深めることは、我々の人生

を中心とした若手会を開催してはどうかと思うのです。夏にこれを開き、暮れの総会の呼び水とする、というのはいかがでしょうか。若手会では、知名度の高い

スの建設、同窓会名簿や記念誌、記念DVDの発行など物心両面におけるお力添えを賜り、重ねて御礼申し上げます。

さて、本校は地域を代表する拠点校として多くの有為の人材を輩出し、それぞれ各界

各方面においてその中枢として活躍されておられますが、現在在籍している生徒諸君においても校訓である「質実剛健」「自重自治」のもと、

学習活動はもとより学校祭である城陵祭や生徒会活動、部活動などに意欲的に取り組む

わが国を背負って立つに相応しい資質を育んでいます。平成25年度においてはポート部の団体での優勝をはじめ、陸



恵那高等学校校長 鎌田嘉彦

トップリーダーの育成

上部、野球部、放送部、音楽部などが東海大会、全国大会等への出場を果たすなど、制約の多い練習場所、限られた練習時間のなかではありましたが大いに成果を上げること

ります。ところで、岐阜県では社会や教育を取り巻く新たな課題に対応すべく、今年度から平成30年度までの5年間の計画で、「第2次岐阜県教育ビジ

会の一員として考え行動できる「地域社会人」の実現が掲げられました。ここに示された「ぎふの人間像」こそは本校がこれまで世に送り出したきた生徒像そのものである

ができました。また、上級学校への進学につきましては、東京大学をはじめとする国立大学や難関私立大学などに多数の合格を勝ち取ることができたいへん嬉しく思っております

「ヨ」を策定いたしました。その基本理念に、「ぎふの人間像」として「高い志とグローバルな視野をもって夢に挑戦し、家庭・地域・職場で豊かな人間関係を築き、地域社

と強く確信いたしております。わが校はその使命としてこれまで長年にわたって培ってきた教育実践に更なる磨きをかけ、タフで心豊かなトップリーダーの育成に、より一

層邁進しなければならぬと考えております。また、この「第2次岐阜県教育ビジョン」においては、今後ますます加速化する少子化やグローバル化に対応すべく、中長期的な将来を見据えた高校教育の改革が重点政策とされております。今後とも地域の優秀な人材をお預かりし、リーダー性やグローバルな能力さらには、社会経済の基盤を担う能力など次代を担うに足る逞しい人材を育成すべく、引き続き授業改善、学校改革に積極的に取り組んで参る所存でございますので、同窓会の皆様方には倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

東大手法律事務所
 〒461-0017
 名古屋市東区東外堀町3番地
 三章ビル601号室
 TEL:052-971-3702
 E-mail:atlaw@quartz.ocn.ne.jp

「8月11日 北斗祭」

平成25年8月11日(日)に、第72回北斗祭がおこな



われしました。北斗祭は城陵歌(大会の歌)の作詞者、吉田一美氏、作曲者、小松孝蔵氏を偲び、毎年、8月11日に開催しています。このほど、本校正面の駐車場と庭が完成しましたので、「城陵広場」で行いました。北斗祭は、恵那高校の伝統を守る会が主催し、恵那高等学校同窓会共催で行われました。当日は同窓会長をはじめ、24名の参加がありました。

【短大】

大学名	年度	平成25	平成24	平成23
東京家政大短大		1		
日本歯科大短大				1
静岡県立短大		1	2	1
愛知みずほ短大			1	1
名古屋学芸短大			1	
名古屋短大			3	3
名古屋女子大短大		4		1
南山短大			1	
名古屋学芸短大				1
中部学院大短大				1
中京学院短大			2	1
愛知学院短大		1		
名古屋経済大短大		1		
愛知医療学院短大			1	
愛知文教女子短大			1	
岐阜保健短大				1
岐阜聖徳学園短大				1
高山自動車短大		1		
岐阜市立女子短大		2	1	2
九州大谷短大			1	

【医療系専門学校】

大学名	年度	平成25	平成24	平成23
トヨタ看護専門学校		2	1	
中部防災看護専門学校			2	
公立春日井小牧看護専門学校			5	
名古屋医療センター附属名古屋看護助産学校			1	
名古屋市立中央看護専門学校				1
あじさい看護福祉専門学校		2		1
トライデントスポーツ医療専門学校		1		
岐阜県立多治見看護専門学校		3	4	5
岐阜県立下呂看護専門学校				2
三重中央病院附属看護専門学校		1		
滋賀総合保険専門学校		1		
滋賀県立看護専門学校		1		
奈良県三室病院看護専門学校		1		
大阪南医療附属看護専門学校		1		

【その他】

大学名	年度	平成25	平成24	平成23
その他の専門学校		6	2	2
自衛隊		1		
海外		3		

丸池の五輪様の供養を毎年、3月と9月のお彼岸に行っておりましたが、この度正式に同窓会の行事として行うことになりました。五輪様供養の由来については、創立五十周年記念誌「城陵誌」の158ページに第5代校長水野隆夫(中学一

今裏庭にコンクリート造りの丸池があって、水も汚く涸れてしまう時もある様だが、あの中央にある石塔は小さいながらなかなかのいわく付のものだ。大正十一年校地の設定せられた城ヶ丘は、桑畑とごろごろ石の荒地に、武並神社の杉林のはずれのゆるやかな傾斜地であった。この荒地のところ



丸池の五輪様の供養の様子

開式の言葉の後、吉田、小松両氏に対し、全員で黙祷を捧げました。校歌斉唱の後、「恵那高校の伝統を守る会」森川正昭(中学19回生)名誉会長、恵那高等学校、鎌田嘉彦校長、恵那高等学校同窓会、市川康夫(高校19回生)会長の挨拶と続きました。その後、山田忠(高校13回生)実行委員による、口上と指揮で、城陵歌(大会の歌)の斉唱をしました。当日は、暑い中厳粛な雰囲気で行われました。今年も8月11日(月)に開催予定です。同窓生の皆様のご参加をお願いいたします。

あのことろその時「五輪の塔由来記」

戦後、学校が宗教的行事を主催するのは厳禁されこの法要も絶え、いつか人々の忘却の彼方に去り単なるアクセサリー的存在となった。昭和二四年から二六年にかけて、先生方に病人やけが人が出たり、理由は別にあったが生徒の中から自殺者が出た。奇妙なもので五輪

様のお祭りをやめたからだとかさやかれた。又嘘なんだけど、昭和二四年某月某日夜五輪様の上を火の玉が飛んでいたのを見た宿直員があったとか。先祖を崇うことは誰もがやらねばならぬと思うし、迷信じゃとか非科学的だとか言っているだけでもだめである。そこで昭和二七年にこの祭りを復活したが、少数の人の手で今もひそかに続けられている苦である。私はむしろ、祭りは盛大に誰もかも知っている形がやるとよいと思う。

丸池五輪様供養の由来

卒業生の大学等合格状況 (平成25年度~23年度)

※現役合格者と過年度生合格者の合計数。()内は過年度生合格者の内訳数

2014年度入試

主な合格大学

東京大学 理科一類 1名

岐阜大学 医学部 医学科 3名
 浜松医科大学 医学部 医学科 1名
 山形大学 医学部 医学科 1名

名古屋大学 理学部 3名
 名古屋大学 工学部 機械航空工学科 1名
 名古屋大学 工学部 電気電子情報工 1名
 名古屋大学 医学部 保健/看護 1名

東北大学 理学部 地球惑星物質科学科 1名
 東京外国語大学 国際社会学部 1名
 名古屋市立大学 薬学部 生命薬科 1名
 岐阜薬科大学 薬学部 薬学科 1名
 富山大学 薬学部 薬学科 1名
 筑波大学 人文文化学部 人文学科 1名
 横浜国立大学 経営学部 経営学科 1名
 横浜国立大学 理工学部 化学・生命系バイオ 2名
 慶應義塾大学 理工学部 2名
 早稲田大学 基幹理工学部 2名
 早稲田大学 国際教養学部 国際教養学科 1名
 早稲田大学 先進理工学部 応用化学科 1名
 早稲田大学 文学部 1名
 早稲田大学 教育学部 1名
 藤田保健衛生大学 医学部 医学科 1名

【私立大学】

大学名	年度	平成25	平成24	平成23
東京薬科		1		
神奈川		2	2	3
神奈川工科			3	2
東京電気			2	
東京都市			1	
武蔵野美術				1
多摩美術				2
立正		1	1	
東京女子医大		1		
国際基督教				1
麻布		1		1
玉川			1(1)	
埼玉医科			1(1)	
工学院		1		
桜美林		1		
横浜薬科		2		
高千穂				1
金沢医			2	
金沢星陵			1	
金沢工業		1		5(1)
福井工業				2
修文			1	
静岡理工科			1	
山梨学院			1	
至学館		1		
愛知		12(2)	19(1)	17
愛知医科		1		1
愛知学院		11(1)	22	3
愛知学泉		1		
愛知みずほ			1	
愛知工業		7(1)	6	8(3)
愛知淑徳		12(2)	15	11
愛知工科			2	
南山		29(2)	21(1)	34
中京		16(1)	26(1)	9
中京学院		6	2	5
中部		26(2)	25(2)	40(3)
中部学院			1	
名城		22(3)	52(4)	43(3)
名古屋外国語		11	3	
名古屋学院		2	2	8
名古屋学芸		7	7	5
名古屋経済		1	2	1
名古屋芸術		1		1
名古屋女子		4	3	11
名古屋商科		1	2	2
名古屋造形芸術				1
同朋				5
常葉学園		2		1
東海学院		2		1
東海学園		2	5	3
相山女子園		9	9(1)	4
名古屋文理		1	3	
金城学院		8(2)	15	7
豊田工業		1(1)	2	1
大同 (旧 大同工業)		4	1	2
岐阜医療科学		5	3	1
岐阜聖徳学園		10	8	8
岐阜女子			3	1
朝日			1	
日本福祉		6	4	6
鈴鹿医療科学		1	1	1
藤田保健衛生		6(1)	6(2)	7(1)
皇学館		1		1
大谷		1		
同志社		5(3)	7(1)	
同志社女子			1	1
立命館		19(3)	15	23
関西学院			1	2
関西			3(3)	1
関西外国語		2		1
甲南女子			1	
京都嵯峨芸術				1
京都外国語		4	2	3
京都学園		1	2	
京都橘			1	1
京都産業		1	5	3
京都女子		2		4
龍谷		1		3(1)
京都精華			1	1
成安造形			1	1
近畿		2	4	7(2)
佛教		3		2(1)
奈良		1		
摂南			1(1)	1
大阪樟蔭女子			1	
追手門学院			1	
明治国際医療			1	
関西国際		1		
岡山理科			1	3
鳥取環境				1
福山				2
広島工			1	
長浜バイオ		1	2	1

【国立大学】

大学名	年度	平成25	平成24	平成23
山形		1(1)		
北見工業				1
岩手				1
東北		1(1)		1
茨城		2		
筑波		1	1	
埼玉				2
千葉			1	1
群馬		1		
東京		1		
東京外国語		1(1)		
横浜国立		3(1)	2	2(2)
新潟		2		1
富山		4	4	1
金沢			4	4
福井			3(1)	2
山梨		4	2	1
信州		11(1)	8	2(1)
静岡		4	7	11
浜松医		2(1)		
豊橋技術科学				1
愛知教育			2	5
名古屋		6(1)	11	11
名古屋工業		4	3(1)	6(1)
岐阜		9(1)	13	12(1)
三重		3	2	3
滋賀			2	1
鳥取		2		
大阪				2
奈良女子		1		
大阪教育				1
兵庫教育				1(1)
神戸			2	
島根		2		2
広島				1
山口			3	
高知				1
香川				2
愛媛			1	
九州				1
宮崎			1	1
琉球		1(1)		

【公立大学】

大学名	年度	平成25	平成24	平成23
青森県立保健				1
茨城県立医療大		1		
前橋工科			1	2
高崎経済		2	2	
首都大学東京				2(1)
長岡造形		1(1)		
福井県立		2	1	1
都留文科		2		
山梨県立			1	
岐阜県立看護		2	1	3
岐阜薬科		1	1	
静岡県立				3

【公立大学】

大学名	年度	平成25	平成24	平成23
静岡文化芸術			1	3
愛知県立		4	2	2
愛知県立芸術				1
名古屋市立		4(2)	4	4
滋賀県立		1		
大阪府立		1	2	1
神戸市外国語		1		
県立広島		1	1	
新見公立				1
北九州市立		1		
高知県立				1
島根県立				2
長崎県立			1	

【大学校】

大学名	年度	平成25	平成24	平成23
水産大学校		1	1	1
防衛医科大学校		1		

【私立大学】

大学名	年度	平成25	平成24	平成23
早稲田		6(4)	3(1)	2(1)
慶應義塾		2		
明治学院		1	1(1)	
明治		6(3)		8(1)
青山学院		2		3(1)
立教		1(1)	1	
中央		2(1)		4
法政		5(2)	2	6(1)
文教				2
駒澤			2	5
文京学院				1
成蹊		1(1)		2
専修		3(2)		2
東京理科		2(1)	4	3(2)
東京農業				1
東海			4	2
日本		1	2	2(1)
日本体育		1	1	
関東学院			3	
常磐		1		
人間総合科学		1		
日本医療科学		1		
高崎健康福祉			4	
東京工科		1(1)		
獨協				1
国士館		1		1
千葉科学		2	1	
城西国際		1		
千葉工業		1		
植草学園		2		
創価			1	
北里		2		2
上智		3(3)		
帝京		1		1



2年生、**沖縄に学ぶ**
修学旅行
(7月)



母校のトピックス

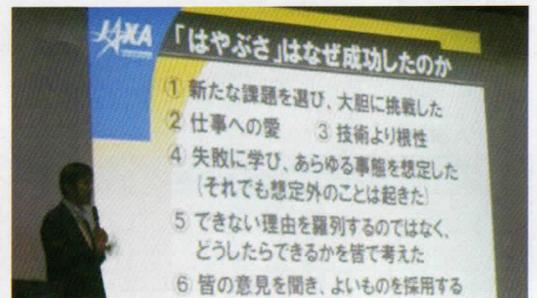
本校の2年生が、7月2日から7月5日まで、3泊4日の日程で沖縄に修学旅行に行きました。天候にも恵まれ、予定通りの日程で、無事に修学旅行を終えることができました。初日は「平和学習」をテーマに平和祈念資料館、ひめゆり資料館、ガマを見学しました。2日目は、「一人一人の知的好奇心を高める」をテーマに、グループ研修を行いました。ここでの研修は、総合学習で調査してきたことを、現地で検証するというものです。事前にしっかりと学習してきたこともあり、とても有意義な研修になりました。3日目はクラスごとの体験学習を行い、4日目は「沖縄の歴史と文化を学ぶ」をテーマに美ら海水族館、首里城を見学し、国際通りを散策しました。生徒にとってとても良い思い出に残る修学旅行となりました。

「宇宙への挑戦」

SSH全校科学講演

(10月)

「宇宙への挑戦」という演題で、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の阪本成一先生が講演されました。阪本先生は大変エネルギー



- 1 新たな課題を選び、大胆に挑戦した
- 2 仕事への愛
- 3 技術より根性
- 4 失敗に学び、あらゆる事態を想定した(それでも想定外の場合は起きた)
- 5 できない理由を羅列するのではなく、どうしたらできるかを皆で考えた
- 6 皆の意見を聞き、よいものを採用する

シユな方で、宇宙開発に関わる仕事について熱く語っていただきました。世界のだれもやっていない事に挑戦すること、できない事を羅列するのではなく、どうしたらできるかを考えること、良い意見を積極的に採用し、宇宙開発の研究を進めていることなど、「はやぶさ」が成功するに至る過程について話してくださいました。また、生徒の「どうしたらJAXAではたらくのか。」などの質問に対して丁寧な答えてくださいました。

「雅楽への招待」

東儀秀樹雅楽トーク & ライブ

芸術鑑賞会

(10月)

毎年、恵那文化センターにて、芸術鑑賞会が行われます。今年は雅楽奏者の東儀秀樹さんによる雅楽の話や雅楽の演奏を鑑賞しました。東儀さんは、演奏しながら生徒の席を回ったり、ステージに生徒を上げ演奏の手ほどきをしたりと、生徒にとっても親しみやすく接してくださいました。また、即興のピアノ演奏も圧巻でした。生徒も職員も東儀さんの演奏に癒され、とても心なむ芸術鑑賞会でした。



先輩たちに学ぶ

職業講話

(11月)

1年生対象に職業講話が行われました。医師、薬剤師、保育士、弁護士、ミュージシャン、管理栄養士、カウンセラーなど15講座18名

の講師が恵那高校を訪問し、自分の職業について、どうしてその仕事を選んだか、どんな時にやりがいを感じるか、これから高校生としてやっていくべきことは、などについて語っていただきました。生徒は1人2講座を選択し、話を聞きました。講師の方々は、本校卒業生や、地元の方が多く、熱心に話をしてくださいました。生徒も自分の進路を考える一つのきっかけになったのではないかと思います。今後も生徒の希望を優先しながら多くの職業について話が聞けるよう企画していきたいと思えます。



受験本番

大学入試センター試験
(1月)

今年は231名の恵那高生が中京学院大学にてセンター試験を受験しました。2日目は少し雪が積もったため、積もった雪の中を慎重に歩きながら、寒さと緊張で引き締まった表情の恵那高生達は、同窓会から送られた、コアラのマーチ(コアラは寝ていても木から落ちない)を1日目に、キットカット(きつと勝つぞ)を2日目に、教員から激励の言葉とともに受け取り、同窓会から寄付された「頑張れ!!恵那高等学校」の垂れ幕の下を通過して各会場に向かっていました。



平成25年度 Student of the Year賞

生徒18名と2団体が輝く!

今年度本校に在学する生徒の中で、最も顕著な活躍が認められた生徒を表彰する、「Student of the Year賞」の表彰式が、平成26年2月28日(金)14時から、恵那高校第一体育館で、全校生徒・職員の前で行われた。

この表彰は、平成19年度から同窓会が行っている事業の一つで、表彰式には阿部伸一郎同窓会副会長の出席を得て、阿部副会長から表彰状・副賞が、代表者に手渡された。表彰された生徒は、次の通りであった。



放送部、**小林史織**(3年生)さんは、第48回岐阜県高等学校放送コンテストアウンス部門で優勝し、第60回NHK杯全国高校放送コンテストに出場した。

放送部、**日室夏希**(3年生)さんは、第48回岐阜県高等学校放送コンテスト朗読部門で入賞し、第60回NHK杯全国高校放送コンテストに出場した。

放送部、**吉田智瑛**(3年生)さんは、第48回岐阜県

高等学校放送コンテストアウンス部門で3位に入賞し、第60回NHK杯全国高校放送コンテストに出場した。

ボート部、**丹羽祐麻**(3年生)君、**中田 慶**(3年生)君、**舘林 将**(3年生)君、**市川大輔**(3年生)君は、第68回国民体育大会ボート競技少年男子舵手付クオドルプルに出場し、5位に入賞した。

ボート部、**近藤貴裕**(3

年生)君は、平成25年度東海高等学校総合体育大会ボート競技男子舵手付クオドルプルに出場し、準優勝した。

ボート部、**伊藤拓海**(3年生)君は、第24回全国高等学校選抜ボート競技男子舵手付クオドルプルに出場し、11位に入賞した。

ボート部、**市川麻耶**(3年生)さん、**成瀬歩美**(2年生)さんは、第68回国民体育大会ボート競技少年女子舵手付クオドルプルに出場し、優勝した。

ボート部、**岡本豊彩**(3年生)さんは、第68回国民体育大会ボート競技少年女子ダブルスカルに出場し、優勝した。

ボート部、**堀部みこと**(3年生)さんは、第24回全国高等学校選抜ボート競技女子ダブルスカルに出場し、5位に入賞した。

ボート部、**曾我友里菜**(3年生)さんは、平成25年度東海高等学校総合体育大会ボート競技女子舵手付クオドルプルに出場し、準優勝した。

陸上部、**三宅将督**(まさよし)(2年生)君は、平成25年度第61回岐阜県高等学校総合体育大会兼全国・東海高等学校総合体育大会岐阜県予選大会走幅跳の部

に出場し、優勝した。

ボート部、**長村和紀**(2年生)君、**渡邊啓太**(2年生)君は、平成25年度岐阜県高等学校新人大会男子ダブルスカルに出場し、優勝した。

ボート部、**長瀬 歩**(1年生)さんは、第27回中部高等学校選抜競漕大会女子ダブルスカルに出場し、3位に入賞した。

軟式野球部は、平成25年度第61回岐阜県高等学校総合体育大会兼全国・東海高等学校総合体育大会岐阜県予選大会で優勝した。

各支部各回同窓会あれこれ

① 東京城陵会総会

催された。出席者は81名にも上りました。高井会長が体調を崩され欠席されましたが、伊藤和徳さんが司会を務め、伊藤忠生前会長が会長代理として挨拶をされました。市川同窓会長、鎌田校長による祝辞が寄せられました。続いてご臨席の多治見北高校同窓会東濃支部 原田会長の紹介がありました。乾杯の後、琵琶演奏を藤下博さん、歌を大久保もとさん、リコーダー演奏を古山和男さん、正調安来節を伊藤登さんが披露する中、和やかな歓談が続きました。恒例のくじ引き抽選会も大いに盛り上がりました。東京城陵会の歌、校歌を斉唱により盛会の中閉幕となりました。



平成25年6月4日(火)正午から、東京の台場ホテルグランパシフィックにて「第16回東京城陵祭」が開

各支部各回同窓会あれこれ ②

土岐市城陵会総会



平成25年6月9日(日)17時から、土岐市「竜庵」において、「第21回土岐市城陵会総会」が開催されました。平成24年度の会務報告・会計報告の後、次期役員及び理事が選出されました。本会からは阿部副会長、恵那城陵会からは小澤会長、中津川恵那高会からは勝野会長、瑞浪恵那会からは水野会長、名古屋恵那高会からは岩澤副会長、また、水野県議会議員、鎌田校長が来賓として出席されました。恒例の懇親会は、36名の参加があり、互いに懇親を深め、和やかな雰囲気の中に閉会しました。

中津川恵那高会(恵蘇会)総会

平成25年11月16日(土)午後6時より中津川市「勝宗」にて、第60回中津川恵那高会(恵蘇会)総会が開催されました。勝野会長の挨拶の後、来賓の挨拶等がありました。また、昨年度は創立90周年記念式典のため開催が見合わせとなったため、2年間分の会務報告となりました。恒例の懇親会には、26名の参加者があり、年齢や世代を超えて和やかな雰囲気の中で懇親を深めました。最後に全員で城陵歌を歌い閉会しました。

名古屋恵那高会総会



平成25年11月23日(土)午後12時30分より名古屋栄



東急イン2階オーケラームにて、第57回名古屋恵那高会総会が開催されました。物故者に対する黙祷の後、「校歌」斉唱、会長挨拶がありました。その後、議事として、会計報告、監査報告、役員選出などが粛々行われました。来賓挨拶として、市川同窓会長、鎌田校長の挨拶があったのち、国立長寿医療研究センター特認研究員の鈴木正昭先生の講演がありました。「創薬・医療新時代」と題して、鈴木先生のこれまでの研究や現在行っている最新の研究まで、とてもわかりやすく、ユーモアを交えて講演されました。懇親会では、「城陵歌(大会の歌)」を恵那高校の伝統を守る会の山田忠様、山本武美様の指導のもと、参加者全員で合唱しました。

瑞浪恵那会総会

本総会は、7年間の休止後、平成23年度より再興されました。瑞浪恵那会の総会は、平成26年3月23日(日)18時から、地域交流センター「ときわ」において開催されました。開会の言葉、黙祷、校歌斉唱の後、瑞浪市長でもある水野光二瑞浪恵那会会長の挨拶がありました。続いて来賓祝辞として市川同窓会長の挨拶があり、来賓紹介がありました。平成25年度の事業報告および会計報告がされました。平成26年度事業計画および予算等予定された議事は滞りなく承認されました。鎌田校長による恵那高校の近況報告がなされました。その後、加地弘至(中学22回生)氏による、「伊藤氏」についての話があり、懇親会が開催され盛会の中閉幕となりました。



恵那高校ソフトテニス部OB・OG会



平成26年1月2日に恵那高校ソフトテニス部OB・OG会が行われました。寒い天候にもかかわらず、20名を超えるOB・OGが参加しました。総会が行われた後、現役の恵那高生とチームに分かれソフトテニスの団体戦を行いました。チームメイトに声援を送り、勝敗に一喜一憂するなど活気溢れる中で交流を深めました。毎年行われる行事ですが、近年では二十代の若いOB・OGも参加するようにになり、和やかな雰囲気の中閉会しました。

7年ぶりの高校27回同窓会

平成26年1月2日の昼、恵那峡ランドホテルで高校27回生の学年同窓会が開催されました。高校を卒業して二十歳となり、大人の付き合いができるようになって

以来、五年ごとに開催されてきたこの会でしたが、今回だけ7年ぶりの開催となり、待ちわびていた遠来の同窓生により、ここ何度かの開催のうちで最も多い80人を超す参加者を得て、盛大な会となりました。高校時代の学級担任だった勝野公明先生、安藤富雄先生、長嶋俊之先生、藤井四郎先生も参加してくださり、40年前と変わらぬ熱いお話ぶりに、一同感服することしきりでありました。



※この紙面では、同窓会の各支部や学年同窓会の様子などを掲載しています。今年度開催予定の同窓会がありましたら、原稿と写真などを、恵那高校内同窓会事務局(〒509-17201・恵那市大井町1023番地の1)までお送りください。